

第25回定時株主総会

オンコセラピー・サイエンス株式会社

2026年6月23日

OTSのミッション

より治療効果が高く、
より副作用の少ないがん治療薬・治療法を
一日も早く
がんに苦しむ患者さんに届けること。
がんとの闘いに勝つこと。

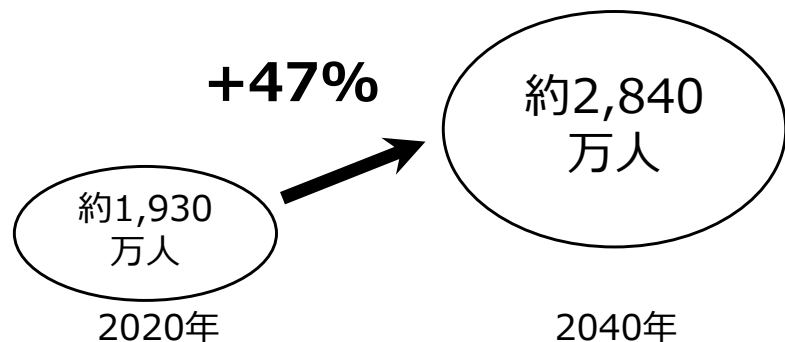
当社グループ

親会社 オンコセラピー・サイエンス株式会社（略称OTS）

連結子会社 株式会社Cancer Precision Medicine（略称CPM）

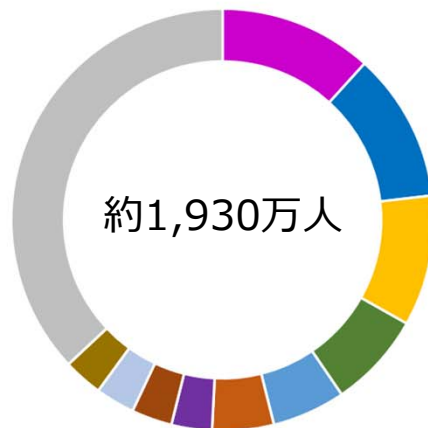
世界的ながん治療薬開発の動向

世界におけるがん患者数

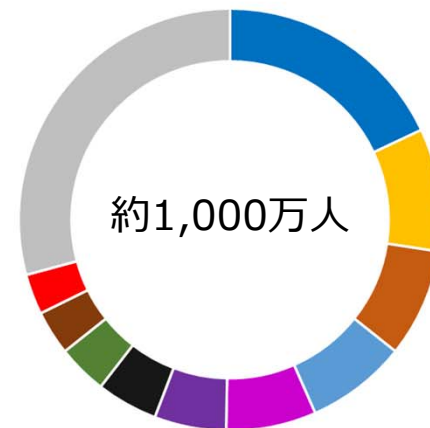


※新たに診断されたがん罹患の数

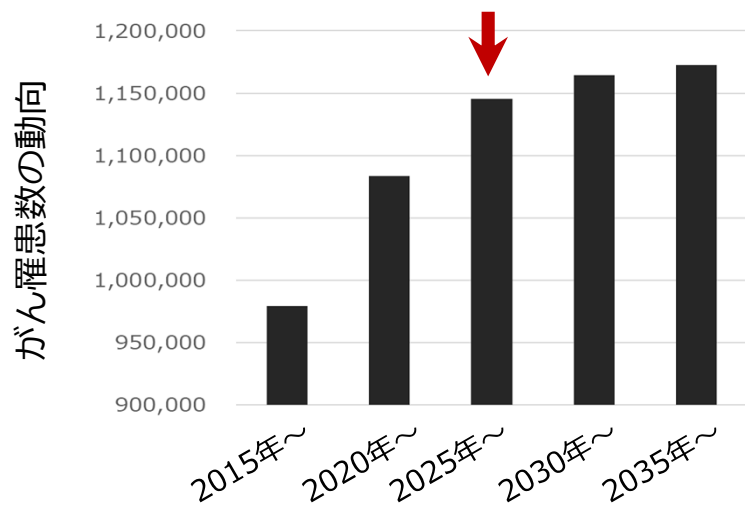
世界のがん罹患数※



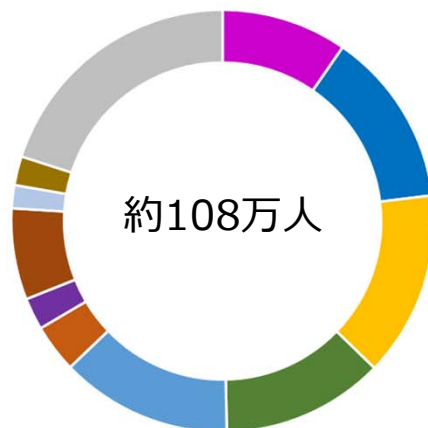
世界のがん死亡数



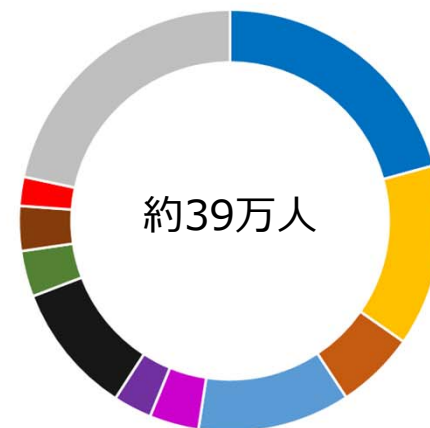
国内のがん患者数



国内のがん罹患数※



国内のがん死亡数



乳房	前立腺	食道	膀胱	その他
肺	胃	子宮	膵臓	
大腸	肝臓	甲状腺	白血病	

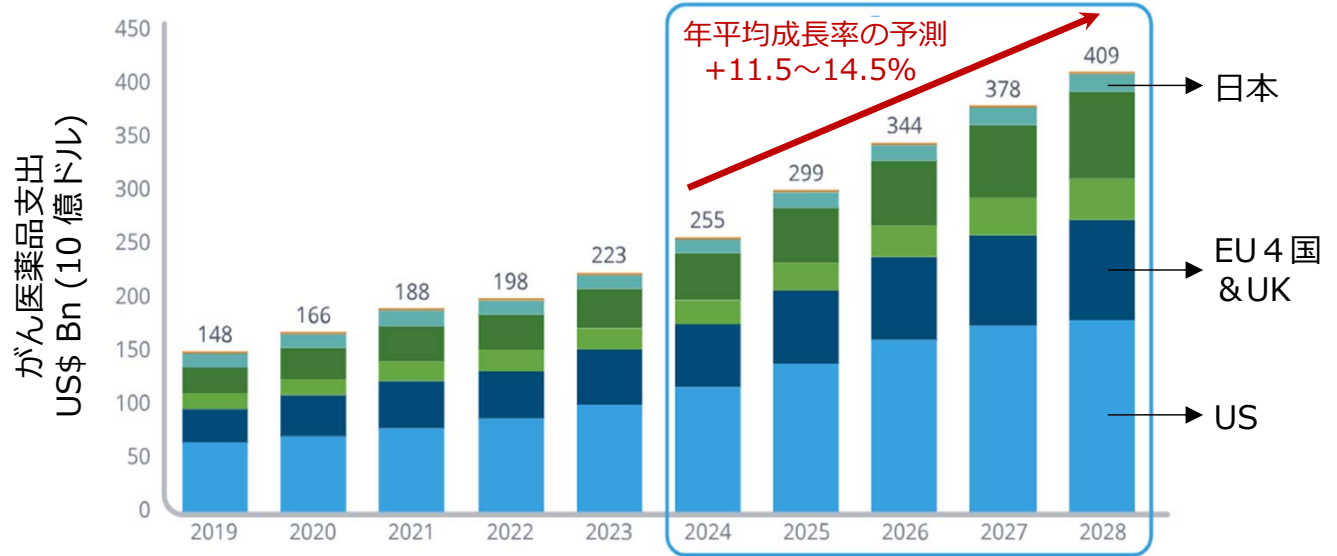
出典：GLOBOCAN 2020, Sung et al., CA Cancer J Clin.

平成28年度科学研究費補助金基盤研究(B)(一般)日本人におけるがんの原因・寄与度：最新推計と将来予測
国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

世界的ながん治療薬開発の動向

世界医薬品市場 (がんのみ)

- 2023年、世界のがん医薬品支出は2,230 億ドルであり、2028年には4,090 億ドルまでの増加が予測される。
- 2024~2028年の年平均成長率 (5-yr CAGR) は、世界平均として 11.5~14.5%、日本では 4~7% が予測される。



出典：IQVIA Institute, Global Oncology Trends 2024: Outlook to 2028

新薬の開発から承認まで



新薬候補
特許出願

10.1年 (平均)

※ がん以外の新薬開発期間：18年 (平均)
出典：IQVIA Institute, Global Oncology Trends 2019

※上記「10.1年」「18年」は研究期間・開発戦略等に要する期間、その他治験薬特性や対象疾患等様々な特殊要因を持つ試験は含まず、画期的治療薬の統計上の数字 (平均) として公表されているものです。当社治験期間の参照とするものではありません。

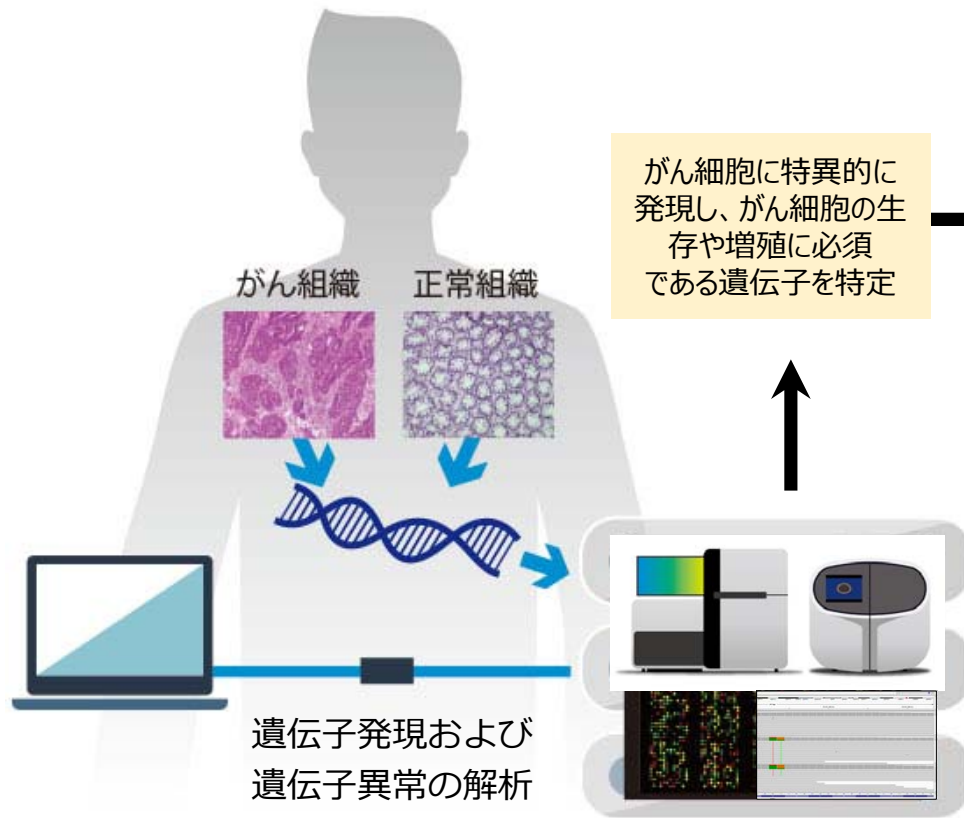
科学的エビデンス
新たな作用機序と開発戦略
バイオマーカー
(生物学的指標)

画期的治療薬指定
優先審査制度
迅速承認制度

開発期間短縮に
つなげる動き

※FDA (米国食品医薬品局) プログラム

当社グループの事業領域～主要ビジネスモデル～



OTS 医薬品の研究開発

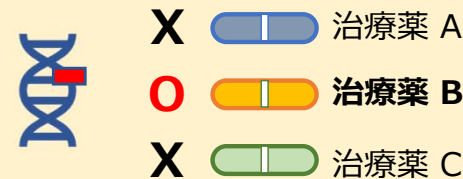
独自の新規抗がん剤標的タンパク質の同定
新規分子標的治療法の開発

臨床試験

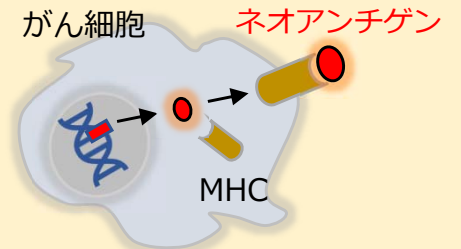


CPM 遺伝子解析サービス

遺伝子変異情報に基づいた
治療薬の選択

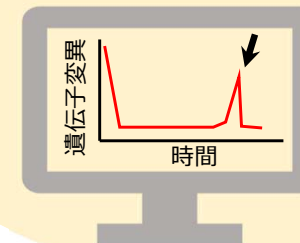


新生抗原の同定



※がん遺伝子解析事業

CPMでは、衛生検査所登録済のクリニカルラボを運用し、遺伝子解析サービス、血液からの遺伝子検査（リキッドバイオプシー）を提供しながら、免疫反応解析、新たながん免疫治療研究・開発を進めています。



血液からの遺伝子検査

治療効果のモニタリング
再発の早期発見
がんスクリーニング

当社グループの事業領域～主要ビジネスモデル～

有効な治療法のないがん患者さんへ
副作用の少ない効果的な治療薬・治療法を提供する



革新的な新規がん治療薬のニーズ



候補品導出

ライセンス導出先
(製薬会社など)

契約一時金
マイルストーン
ロイヤリティー

OTS
医薬品
研究開発

新たな治療薬の開発

最先端技術
企業価値向上
事業提携機会

がん治療の課題

適切な人に
適切なタイミングで
適切な治療法を提供する

がん個別化医療の市場拡大



CPM
遺伝子
解析

解析結果納品

研究機関
医療機関

解析サービス等
による収入

安定的な収益の確保
遺伝子解析ノウハウの蓄積

OTSグループの特徴

革新的基盤技術に基づく創薬モデル

がん特異的遺伝子の特定

1,000例以上の臨床検体（患者数 20～80 名/ がん種）

がん細胞の生存または増殖に必須であるか確認

がんペプチド
ワクチン

抗体医薬

低分子医薬

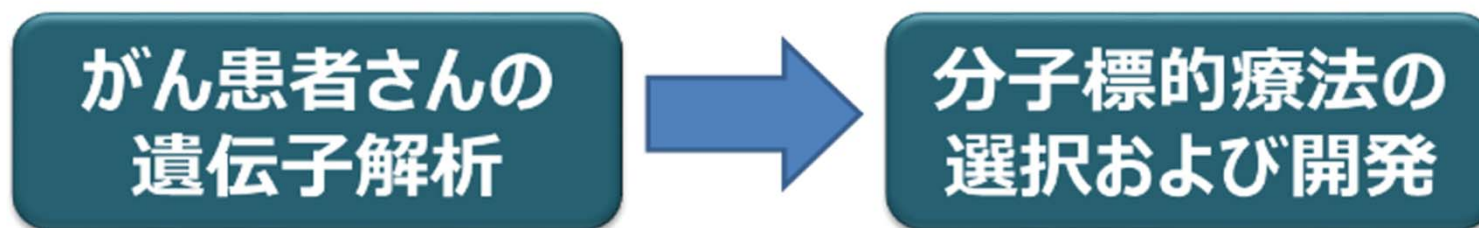
- ✓ 大学・研究機関との提携、共同研究
- ✓ 科学的エビデンスを論文・学会発表

OTSグループの特徴

がんプレシジョン医療を推進する事業展開

がんプレシジョン医療とは

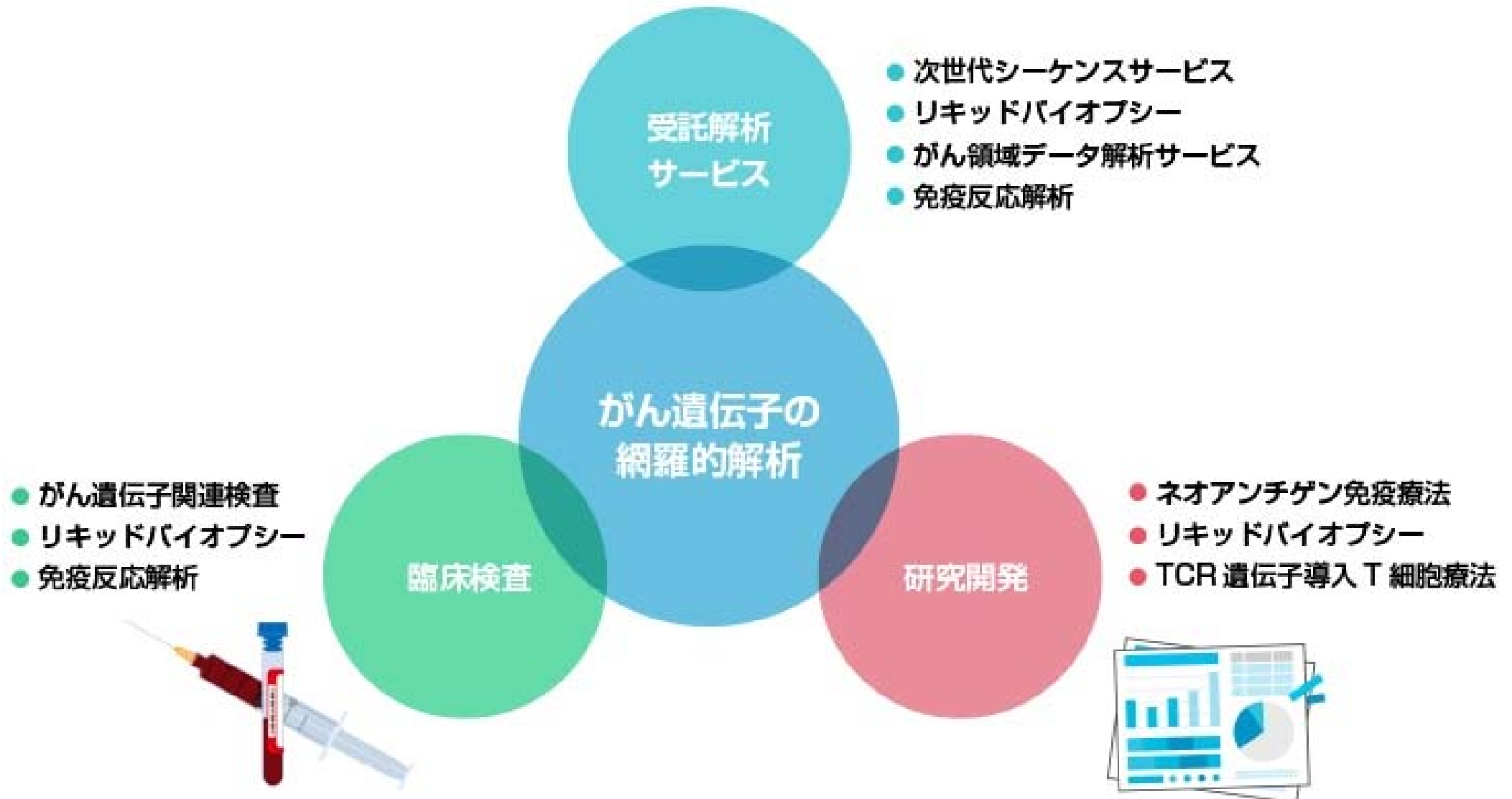
適切な人に適切なタイミングで適切な治療を提供すること



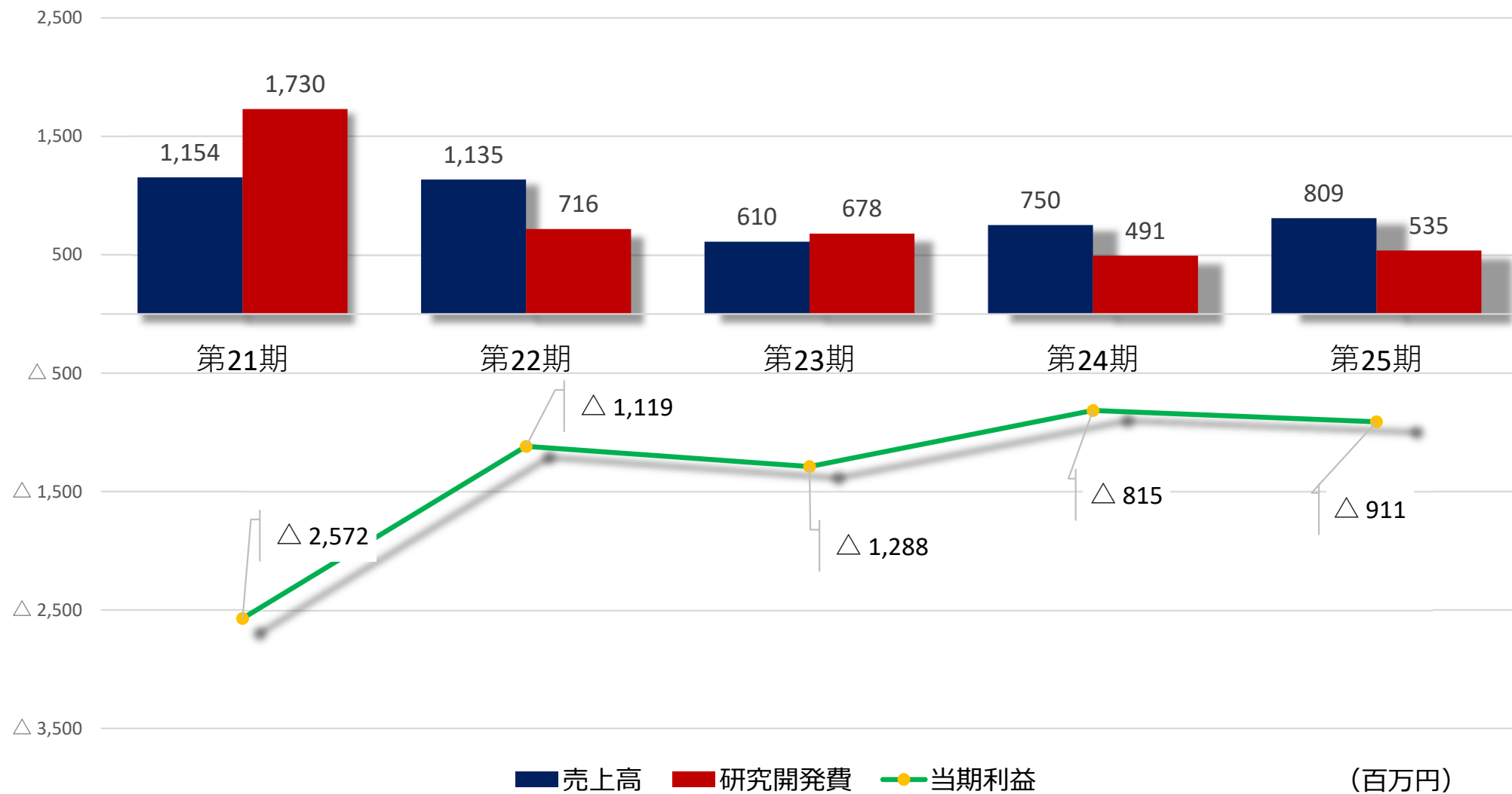
- 生存率の向上
- 高精度にがんを狙う
- 副作用の緩和等

患者さんごとに最適な治療を提供できるように

OTSグループの特徴



直近5期の連結業績推移



開発パイプライン（2026.6現在）

治験薬	種類/ 作用機序	対象疾患	開発ステージ				開発国/ 地域	導出先 etc.
			非臨床	Ph1	Ph2	Ph3		
S-588410	がんワクチン	食道がん	P3終了				日本	塩野義製薬株式会社
S-588410	がんワクチン	膀胱がん	P2終了				日本/欧州	塩野義製薬株式会社
S-488210	がんワクチン	頭頸部がん	P1終了				欧州	塩野義製薬株式会社
S-588210	がんワクチン	固形がん					英国	塩野義製薬株式会社
OTSGC-A24	がんワクチン	胃がん					シンガポール/韓国	医師主導治験
OTSA101	FZD10抗体 (⁹⁰ Y標識)	滑膜肉腫	登録終了				日本	
抗アミロイドβ ペプチド抗体	Aβ抗体	アルツハイマー型 認知症	P1終了 (欧州/日本)				—	
OTS167	低分子 MELK阻害剤	白血病	登録終了				米国	
OTS167	低分子 MELK阻害剤	乳がん	登録終了(日本)				米国	
OTS964等	低分子 TOPK阻害剤	—					—	

注：創薬研究領域では、複数のがん特異的蛋白質を標的とする低分子化合物の新規化合物合成と構造活性相関研究を進行中。また、自社化合物ライブラリを活用した複数の低分子化合物候補品を評価中。

第25期（2026年3月期）のトピック



<OTS社>

資金調達

- 2025.4 第三者割当による新株式及び第37回新株予約権の発行
- 2025.11 第三者割当による新株式及び第38回新株予約権の発行



<CPM社>

ロングリードシーケンス

- 2025.10 東京大学医科学研究所附属ヒトゲノム解析センターとの共同研究契約締結
- 2025.11 ロングリードシーケンス受託解析サービス開始

業務提携

- 2025.10 株式会社JT Bとの医療インバウンドに関する業務提携

その他

- 2025.4 CAP認定取得
- 2025.11 ISMS認証取得

資金調達

第三者割当てによる新株式及び第37回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行

		新株式	第37回新株予約権
割当日	新株予約権数	—	割当日2025年4月28日 新株予約権数630,000個
発行価額		1株当たり19.8円	新株予約権1個当たり9円 (払込総額5,670,000円)
発行時の潜在株式数		—	63,000,000株 (本新株予約権1個当たり100株)
調達予定額	行使期間	0.8億円 (4,000,000株)	13.7億 行使期間2025年4月30日～2028年4月28日
行使価額及び行使価額の修正条件		—	当初行使価額 19円 上限行使価額 なし / 下限行使価額 11円 行使価額は、本新株予約権の各行使請求の効力発生日 (修正日) の属する週の前週の最終取引日の東証の普通取引の終値の90%に相当する金額 (小数点第1位に切り上げ) に修正。修正後の行使価額が下限行使価額を下回る場合には、下限行使価額を行使価額とする
募集又は割当方法		第三者割当ての方式による (割当先はLong Corridor Alpha Opportunities Master Fund及びMAP246 Segregated Portfolio)	
資金の具体的な用途		<p>調達計画額 : 14.5億円</p> <p>1.5 2.2 10.7 (億円)</p> <p>①創薬医薬研究領域における研究開発費 ②医薬開発領域における研究開発費 ③がんプレシジョン医療関連事業における経費及び研究開発費</p> <p>調達実施額 : 14.7億円</p>	
行使状況		満了	

資金調達

第三者割当てによる新株式及び第38回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行

		新株式	第38回新株予約権
割当日	新株予約権数	—	割当日2025年12月8日 新株予約権数796,000個
発行価額		1株当たり19円	新株予約権1個当たり3円 (払込総額2,388,000円)
発行時の潜在株式数		—	79,600,000株 (本新株予約権1個当たり100株)
調達予定額	行使期間	0.9億円 (5,000,000株)	16.6億 行使期間2025年12月9日～2027年12月8日
行使価額及び行使価額の修正条件		—	当初行使価額 21円 上限行使価額 なし / 下限行使価額 11円 行使価額は、本新株予約権の各行使請求の効力発生日 (修正日) の属する週の前週の最終取引日の東証の普通取引の終値の93%に相当する金額 (小数点第1位に切り上げ) に修正。修正後の行使価額が下限行使価額を下回る場合には、下限行使価額を行使価額とする
募集又は割当方法		第三者割当ての方式による	(割当先はLong Corridor Alpha Opportunities Master Fund、MAP246 Segregated Portfolio、BEMAP Master Fund Ltd.)
資金の具体的な用途		<p>調達計画額：17.5億円</p> <p>3.0 4.3 10.1 (億円)</p> <p>①創薬医薬研究領域における研究開発費 ②医薬開発領域における研究開発費 ③がんプレジジョン医療関連事業における経費及び研究開発費</p> <p>調達実施額 (調達中) : 13.4億円</p>	
行使状況		—	一部行使済み (残 : 150,000個)

CPM社 ロングリードシーケンス

ヒトに関するゲノムデータ解析技術に係る共同研究

(相手先：東京大学医科学研究所附属ヒトゲノム解析センター健康医療インテリジェンス分野 井元清哉教授)

【目的】

ロングリードシーケンス等で得られるヒトおよび細菌叢等のゲノムデータ解析のための技術開発



ゲノム研究およびゲノム医療の促進

【CPM担当】

ロングリードシーケンスデータの取得
データ解析技術の開発および実装

【ロングリードシーケンスとは】

これまでの技術では難しかった

- ・ 数千から数十万塩基に及ぶ長鎖配列の一括解読
- ・ 遺伝子のオン/オフを制御するDNAメチル化情報の取得

が可能なため、近年注目されている。

一方で、シーケンス後の膨大なデータを高速処理・整理するゲノムデータ解析の技術開発がゲノム研究およびゲノム医療に活用するための重要な課題となっている。

2025年11月、CPMでロングリードシーケンス受託解析サービスも開始。

CPM社 業務提携

医療インバウンドに関する業務提携

(提携先：株式会社JTB)



JTBは医療コーディネートについてのノウハウと実績を有する。
また、日本での自由診療による受診需要も増加している。
医療インバウンドの市場に対し、両社のシナジーが効果的であると考える。

CPM

がん遺伝子パネル検査およびネオアンチゲン療法に関する情報提供



JTB

受診希望者への医療コーディネート提供

CPM社 CAP (米国臨床病理医協会) 認定取得

- CPM社は、CPMクリニカルラボにおける臨床検査事業において、臨床検査の品質管理における世界標準である「CAP (College of American Pathologists : 米国臨床病理医協会) 認定」を取得いたしました。
- CAP認定検査室では、詳細な要求事項のもとに品質マネジメントシステムが構築され、維持されていることが求められます。CAP認定取得により、臨床検査事業におけるさらなる品質向上に取り組み、個々の患者さんに最適な医療を届けるがんプレジジョン医療に引き続き貢献してまいります。



CERTIFICATE OF ACCREDITATION

Cancer Precision Medicine Inc
CPM Clinical Lab
Kawasaki City, Japan
Osamu Shimada, MD, PhD

CAP#: 9606847

The organization named above meets all applicable standards for accreditation and is hereby accredited by the College of American Pathologists' Laboratory Accreditation Program. Reinspection should occur prior to **February 20, 2027** to maintain accreditation.

Accreditation does not automatically survive a change in director, ownership, or location and assumes that all interim requirements are met.

Kathleen G. Beavis, MD
Chair, Accreditation Committee

Donald S. Karcher, MD, FCAP
President, College of American Pathologists



適用規格
登録組織

登録番号
審査機関

LAP
株式会社 Cancer Precision Medicine
CPMクリニカルラボ
2237188
College of American Pathologists
(CAP)



CPM社 ISMS認証取得

「ISO/IEC 27001:2022」認定取得

- CPMは、受託検査事業において、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の国際規格である「ISO/IEC 27001:2022」の認証を取得
- 本認証は、米国の国際認定機関であるIAS（International Accreditation Service）から認定された認証機関G-CERTI Co., Ltd.の審査を受け取得したもので、CPMの情報セキュリティ体制が国際的な規格に適合していることを示す



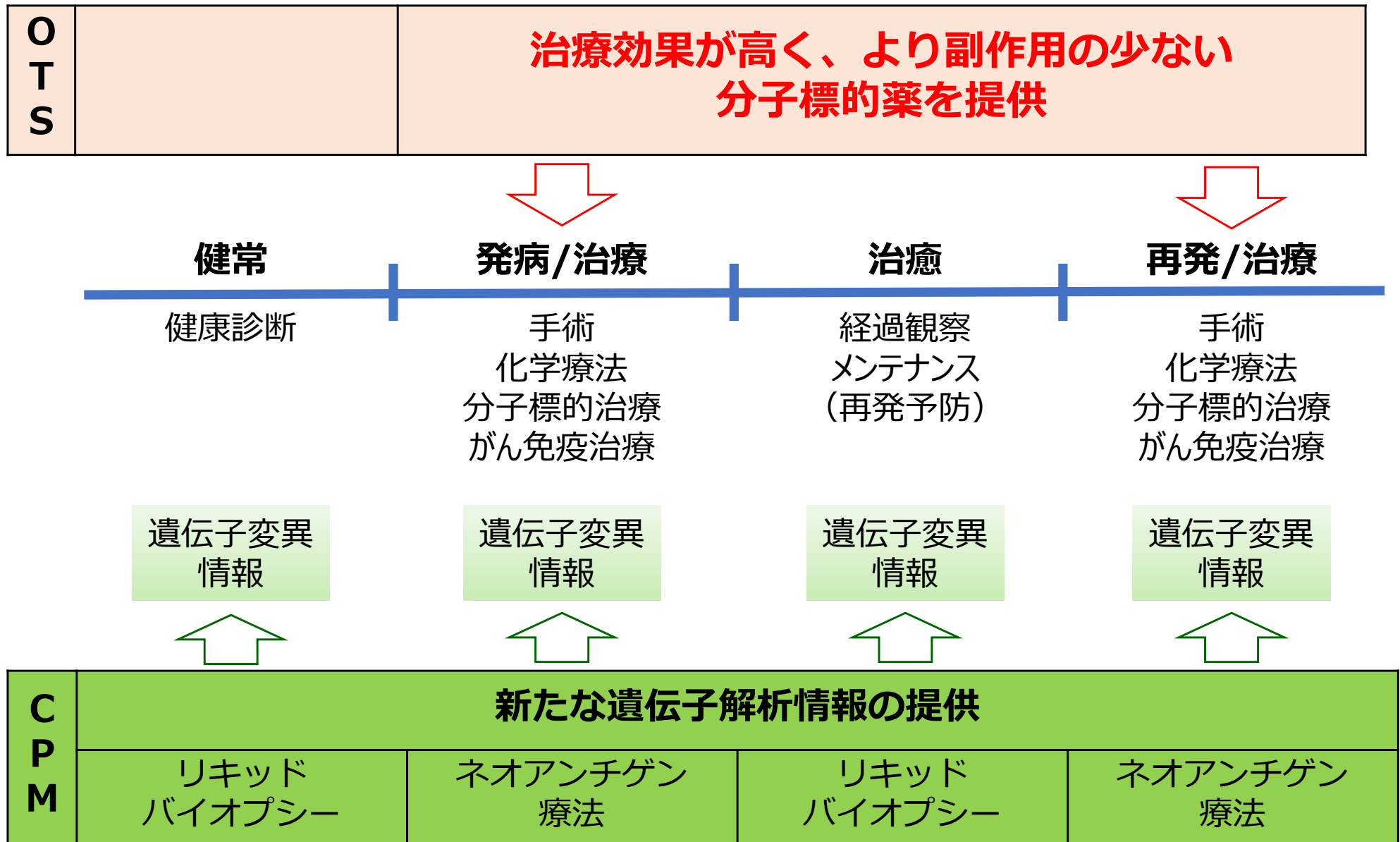
MSCB-113



認証基準
認証番号
登録範囲
初回認証日
認証機関

ISO/IEC 27001:2022
GIJP-1972-IC
受託検査事業の管理運営
2025年11月5日
G-CERTI Co., Ltd.
(IAS 登録番号:MSCB-113)

当社グループ目標への包括的アプローチ



個人の健康ステージに合わせたソリューションの提供

本資料は、投資者に対する情報提供を目的として記載したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料発表日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。これらは現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、今後の経済情勢、市場の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は予測と大きく異なる可能性があります。

当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。